

相談支援（カウンセリング）について

相談の手引き・マニュアル等の作成 ①

○HTLV-1母子感染予防対策医師向け手引き

- ◆平成21年度厚生労働科学特別研究「HTLV-1の母子感染予防に関する研究」（研究代表者：齋藤 滋 富山大学大学院教授）報告書を元に作成
- ◆趣旨：HTLV-1による母子感染を予防するための診療上の留意点などを医師に対し周知する手引き
- ◆主要内容：妊婦に対するHTLV-1スクリーニングの進め方、HTLV-1キャリア妊婦のカウンセリングの進め方とポイント、業務上の感染について 等
- ◆配布先：各都道府県、政令市、特別区、保健所の母子保健主管課
産婦人科を標榜する医療機関 ※厚生労働省HPに掲載
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi-hoken16/dl/04.pdf>



○HTLV-1母子感染予防対策保健指導マニュアル(改訂版)

- ◆平成22年度厚生労働科学特別研究「ヒトT細胞白血病ウイルス-1型（HTLV-1）母子感染予防のための保健指導の標準化に関する研究」（研究代表者：森内浩幸 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授）にて作成（平成6年度のマニュアルの改訂版として位置付け）
- ◆趣旨：HTLV-1母子感染予防に携わる母子保健医療従事者が保健指導を行う時のマニュアル
- ◆主要内容：HTLV-1感染症の基礎知識、HTLV-1キャリア妊産婦の管理、栄養方法の選択、新生児の管理、乳幼児期の管理、HTLV-1のQ&A 等
- ◆配布先：各都道府県、市区町村、保健所の母子保健主管課
※厚生労働省HPに掲載
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi-hoken16/dl/05.pdf>



OHTLV-1キャリア 指導の手引き

平成22年度「本邦におけるHTLV-1感染及び関連疾患の実態調査と総合対策」(研究代表者:山口 一成)

◆趣旨

医療関係者がHTLV-1キャリアを診断した場合に、どのように対応、指導すればよいかの判断を行う資料が不足していることから、HTLV-1感染症についてなじみのうすい医療関係者が、診断時の対応、指導を行う資料として作成された。活用しやすいよう、患者向けの言葉で説明したQ&Aも掲載されている。

◆内容

HTLV-1について	HTLV-1感染関連疾患	
HTLV-1感染の診断	HTLV-1キャリアの指導方針	
HTLV-1指導のQ&A		等

◆配布先

- ・136自治体(都道府県、保健所設置市、特別区)
- ・1,464医療機関(血液内科、神経内科、産科など)

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/dl/htlv-1_d.pdf



○HTLV-1母子感染予防対策全国研修会

◆目的

- ・自治体母子保健担当者や産婦人科医等を対象に、HTLV-1の現状やHTLV-1に感染した者に対するカウンセリング等について研修を行い、HTLV-1に関する見識を深め今後のHTLV-1対策に資する。

◆対象者

- ・都道府県、政令指定都市、中核市、保健所設置市、特別区の母子保健担当者
- ・都道府県医師会、日本産婦人科医会の会員である医師

◆開催場所

- ・東京会場：平成23年3月2日（水）（参加者：140名）
- ・大阪会場：平成23年3月9日（水）（参加者：143名）

◆主要内容

- ・HTLV-1とATL、HAMについて
- ・妊婦健診における抗体検査について
- ・保健指導とカウンセリングについて
- ・患者会の活動について

◆研修会DVDの配布

- ・研修会の映像・資料、HTLV-1母子感染予防対策ポスター及びリーフレットの印刷用データを納めたDVDを各都道府県、市区町村宛送付

研修の実施状況 ②

○HAM患者に対する相談・支援のための研修

◆目的

- ・各都道府県にて難病患者の看護及び生活指導等に関わる保健師等を対象に、必要な知識と基礎技術を習得することを目的とする。

◆研修名

- ・特定疾患医療従事者研修
- ・難病相談支援センター職員研修

◆内容(予定)

- ・HAMの専門家により、HTLV-1対策、HAMの疾患特性、療養支援の際の留意点等についての講演
開催日程(予定)：平成23年10月下旬

○ATL患者に対する相談・支援のための研修

◆目的

- ・がん診療連携拠点病院相談支援センターにおいて、適切に相談に対応できるようにすることを目的とする。

◆研修名

- ・相談員基礎研修（国立がん研究センター主催）

◆内容

- ・「HTLV-1キャリア指導の手引き」等を配布し、HTLV-1対策について紹介し、ATLに係る相談対応について周知

開催日：平成23年5月17・18日

参加者：がん相談支援業務に携わる実務者674名

相談窓口

○全国の相談窓口の公表

◆相談支援体制の整備のために各都道府県の一般、ATL、HAM、母子感染向け相談窓口をとりまとめ公開した。(平成23年4月28日)

○相談窓口登録数: 1, 387カ所(平成23年5月31日現在)

受付相談内容別の登録窓口数

一般 (キャリア含む)	ATL	HAM	母子感染
510	485	176	607

◆主な相談窓口

保健所、保健センター(一般、母子感染)

各都道府県の難病支援センター(HAM)

がん相談支援センター(ATL)※、医療機関

※ ATLに関する医療相談について、がん診療連携拠点病院の相談支援センターの業務に追加する旨通知(平成23年3月29日)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou29/index.html>

The screenshot shows a table with columns for Prefecture (都道府県), General (一般), ATL (がん相談支援センター), HAM (難病支援センター), and Maternal and Child Infection (母子感染). The table lists consultation windows for various prefectures, including Hokkaido, Aomori, Iwate, Miyagi, Fukushima, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Saitama, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Choshi, Shizuoka, Aichi, Gifu, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, and Okinawa.